

会報



2018.9.14
No.136

〒420-0853 静岡市葵区追手町9番18号 静岡中央ビル6階
TEL:054-255-4678 FAX:054-255-4699



URL <http://www.hs-pta-shizuoka.net/>
E-mail post@hs-shizuoka.net



静岡県公立高等学校PTA連合会

いぬらわし

会長 小山 全司

厳しい暑さが続いた夏も終わり、まだ残暑残る毎日ですが、高校生のみなさんは、新学期を迎え新たな気持ちで通学し、本格的な学業、部活動となる時期かと思えます。

6月の総会において会長に再任され、2年目を迎えた新たな気持ちで、他の役員とともに本連合会の運営に努めていく所存です。よろしくお願ひします。

高P連は、子どもたちの健全育成や教育環境や生活環境を守るため、会員の皆様はじめ、単位PTA、地区PTAなど多くのみなさまのご協力をいただきながら各事業を推進しています。

会員のみなさまには、日頃より、本連合会の事業や各学校のPTAの活動に、ご支援・ご協力を感謝申し上げます。いま、子どもたちを取り巻く世界は、大きく変化してきています。世界は、

グローバル化、スマートフォン他情報通信機器の発展、AIの波が押し寄せるこれからの諸問題、高P連を取り巻く様々な新しい課題に学校・地域社会と共に対応していかなければならぬ時代を向えています。

今年3月に高等学校学習指導要領改正の公示がありました。子どもたちが未来を切り拓くための資質・能力を一層確

実に育成することを基本的な考え方とし、求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、社会にかけられた教育課程を重視しています。「何ができるようになるか」を明確化し、各教科の目標に「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」が挙げられています。また、高等学校教育を含む初等教育改革と大学教育改革、そして両者をつなぐ大学入学者選抜改革の一体的改革、いわゆる高大接続改革という改訂が行われます。

そして、社会で求められる資質・能力・生きる力を育み、「生涯にわたって探求を求める未来の創り手」となる子どもたちを送り出していくことが、保護者に求められるようになってきています。なお、施行・適用は平成34年4月1日となっています。

平成23年の北海道大会の大会宣言の中に、家庭・学校・地域と一体となり子どもたちの健全育成を大きな目標として活動し、将来を担う子どもたちの豊かな成長は、すべての保護者、すべての地域における切実な願いであり、PTAは「全ては子どものために」を合言葉に、子どもたちの夢や希望の実現をめざし、この国を託する高らかな

志を持った、創造性豊かな人材の育成に努め、さらに魅力あるPTA活動を目指すとありました。やはり、時代の変化はあるにせよ、PTA活動は、これからの未来を切り開く子どもたちを育て、支えるために推進していかねばならない活動であり、誰もが存在意義を認める組織となっていかなければならないと読み返して感じたところです。

全国高P連では、講演・研修会をあまりの時代のスピードに合わせるため、今やらなくてはという課題、「今日的課題」と題して、活動研究テーマをその時点で合わせていくようになってきました。

静岡県高P連もスピードある対応で活動を形にとられることなく、進めていきたいと思います。

結びにみなさまのご支援・協力をお願いするとともに、各単位PTAの活動のますますの充実と発展を祈念しあいさつとさせていただきます。

Contents 目次

ごあいさつ	1
静岡県公立高等学校PTA連合会 総会・研修会報告	2
東海地区高等学校PTA連合会 総会・研究大会(愛知大会)報告	3
第68回全国高等学校PTA連合会大会 佐賀大会報告	3
学校PTA活動紹介	4
静岡県教育委員会 社会教育課	6
健康体育課	6
平成30年度事業計画	7
平成30年度役員名簿	7
平成30年度単位PTA会長名簿	8
一般財団法人静岡県高等学校安全振興会	8



平成30年度 高等学校PTA連合会報告

- 1 県高P連総会・研修会
期日 6月1日(金) 午後1時30分から 会場 しずぎんホールユーフォニア
- 2 東海地区高P連総会・愛知大会
期日 6月22日(金) 午前11時から 会場 刈谷市総合文化センター
- 3 第68回全国高P連大会佐賀大会
期日 8月19日(日) 大会運営会議・全国事務局長会議、静岡県高P連情報交換会
8月20日(月) 大会第1日目
8月21日(火) 大会第2日目
会場 佐賀県内各地

**静岡県公立高等学校PTA連合会
総会・研修会報告**
期日 平成三十年六月一日(金)
会場 しずぎんホール(ユーフォニア)

【総会】

平成30年6月1日(金) 午後1時30分から、しずぎんホール「ユーフォニア」を会場に、県内単位PTAから327人の会員のみなさまが参加し、総会が開催されました。



小山全司会長挨拶

はじめに、小山全司会長から、昨年開催されました静岡大会が盛會裡に行われ感謝していませんと挨拶がありました。また、PTA会員が力を合わせ「これから

の未来をつくる子供を育て、支える」ことが重要と感じています。「子供たちのために」という気持ちを念頭に置いてこれからのPTA活動に参加してほしいと話されました。

続いて、PTA活動の功績を称え、各単位PTA会長退任者95人、本会役員退任者3人、合計98人に小山全司会長から表彰状が授与されました。

被表彰者を代表して高塚勝久前顧問から、「合計8年間の高等学校P



被表彰者へ賞状授与



来賓祝辞 鈴木一吉教育部長

長からご祝辞をいただき、高等学校、特別支援学校の教育活動に対して多大なご支援と家庭教育の充実や青少年の健全育成にご尽力を賜り、厚くお礼申し上げますとの挨拶をいただきました。

あいさつの中で、県教育委員会は、静岡県教育振興基本計画に基づき施策を進めていること。新学習指導要領では、主体的、対話的な教育の実践、高大接続改革が予定をされていること。学校現場では、不登校の生徒が増加し、SNSなどによるいじめの認知件数の大幅増加や子供の貧困問題などが大きな社会問題となっていることなど話されました。

最後に、PTAは、学校と家庭と地域をつなげる大切な組織であります。保護者の皆様の職業や経験もさまざまです。生徒が多様な価値観を認め、心豊かに学び、社会の一員として活躍できるように、教職員や大人がそうならなければなりません。今後も、PTAの皆様とともに「有徳の人」づくりに取り組みたいと考えていますので、より一層のご支援をお願いしますと、力強い挨拶がありました。

来賓の皆さまが退出後、慣例により議長を小山全司会長が務め、議事が進められ、すべての議案が承認されました。(詳細は

TAの活動で出会えた方々と活動をとおして学べた多くの事柄などが思い出されます。」と、謝辞がありました。

次に、来賓を代表して県教育委員会鈴木一吉教育部

本会ホームページ参照)
最後に、一般財団法人静岡県高等学校安全振興会 事業概要説明が鈴木敏彦理事長よりありました。本会(PTA・安全振興会)会員の児童・生徒等が健康で安全な学校生活を送ることを願い、学校管理下の事故に係る医療費等の救済事業を行い、学校における教育活動の発展に寄与することを目的に平成元年に設立されと説明がありました。また、今年度から各種給付見舞金は、直接保護者の金融機関への口座振込とする給付システム変更されたこと。「児童生徒等の健康・安全に関する研修会等支援事業」を始めたことなど説明がありました。最後に、静岡県高P連賠償責任補償制度加入により児童・生徒等の過失による賠償責任、PTA活動におけるPTA管理者等が賠償責任を問われる事故の補償があるので、知ってほしいとの説明がありました。



鈴木敏彦理事長 概要説明

【研修会】(講演会)

演題 「成長期における靴環境が

身体機能に及ぼす影響」

↳運動パフォーマンスを上げる

健康診断時の足サイズ計測

講師 一般社団法人日本靴育協会

代表理事 森 千秋 氏

森 千秋 氏は、ご自身が難病にかかり、治療の一環としてウォーキングを始めたが靴が合わず、自分に合った靴の大切さを知り、足の勉強をされたと話され「成長期に



講師 森 千秋 氏

おける靴環境が身体機能に及ぼす影響」と題してご講演をいただきました。

(講演要旨)

人の足の骨は56個、全体の約1/4に集中している。足の骨は細かく微

細に自由に動くが、変形しやすく足部障害がでます。外反母趾・内反小趾、たこ・うおのめ、巻き爪など、足部疾患は靴が合っていないことと圧倒的な歩行不足があります。

足部疾患の原因となるのが、子どもの頃から「成長するから大き目の靴を」と、大きめのサイズの靴を選んでしまうことです。足長の止まる15歳から18歳でも緩い靴感覚を覚えてしまい、合わない靴を履くことで脚長差を起こして膝痛の原因となります。また、脚長差があると骨盤を傾かせ足の長さ調整をするようになり、腰痛や肩凝り、股関節症を起こします。

人は、二足歩行で片方が着いて片方が上がるこの繰り返してあり歩行バランスを安定させるため、かかとの骨が大きくなり土踏まずが形成されました。また、足の骨は内側縦アーチ・外側縦アーチ、横アーチの形状で、これが潰れると足部疾患を起こします。アーチの形状が崩れたり落ちたりしたら靴サイズを疑ってほしい。靴は、かかとが硬いもの、半分で折れ曲がらないもの、横幅が広すぎないもの、中敷きが外れるもの、調整具のあるもので「足長、足幅、足囲」を測ってJIS規格に合ったものを選び、正しい履き方をしてほしい。

東海地区高等学校PTA連合会
総会・研究大会(愛知大会)報告
 期日 平成三十年六月二十二日(金)
 会場 刈谷市文化センター大ホール

【総会】

午前中に東海高P連理事・代議員による総会が行われ、新役員が決まり、平成30年度がスタートしました。

平成30年度 東海地区高P連役員

会長	渡邊 修造(愛知)
副会長	下野 泰輔(岐阜)
	小山 全司(静岡)
	倉田 利寛(三重)
以下静岡県選出役員	
理事	関 隆之(南山)
	望月美奈子(吉原)
	志村 剛和(静岡)
代・監	健(清水桜が丘)
代議員	青山 好和(浜松北)
	山崎 伸幸(科学技術)
	小関 義久(浜松西)
	袴田

【研究大会(愛知大会)】

初夏の風に汗ばむ刈谷の地に、東海四県のPTA会員一三八四人(静岡三二〇人)が参加し、研究大会(愛知大会)が開催されました。はじめに、平成30年度渡邊修造新会長より就任と大会の盛会を願って挨拶がありました。



平成30年度渡邊新会長



梅田陽子氏

続いて、一社全国高P連専務理事・来賓より祝辞をいただき、講演に入りました。講演は、トータルフイット株式会社



鶴城丘高校PTAの発表



朝明高校PTAの発表

社長 梅田陽子氏から「コロナとカラダの健康づくり」と題してお話をいただきました。ストレスに対応するための自己分析の重要性について会場参加型の講演でした。終了後、2件の研究協議が行われ、愛知県立鶴城丘高校PTAと三重県立朝明高校PTAの発表がありました。発表は各校のPTA会長によって行われ、各校のPTA活動について熱い思いが伝わる内容でした。

第68回全国高等学校PTA連合会大会
佐賀大会報告
 期日 平成三十年八月二十一日(火)
 会場 佐賀県総合体育館他



大会に先立ち、8月19日(日)午後5時から大会運営会議・全国事務局長会議がHニューオオタニ佐賀を会場に行われました。全国高P連理事及び全国の各PTA連合会事務局長が参加し、佐賀大会実行委員会から大会開催の最終説明と全国高P連から調査システムの運用、募金活動のあり方について説明がありました。



第1日目(8月20日(月))

第68回佐賀大会は、会場分散型(5会場)の大会で開催され、佐賀県総合体育館で開会式・基調講演が行われ、他会場への参加者は、映像配信による参加となりました。



開会式(表彰式)では、本県から全国高P連会長表彰個人(2人)・団体(2団体)、文科大臣表彰(P活動振興功労者表彰(6人))と第67回静岡大会感謝状を実行委員長と本会が受賞されました。基調講演では、レモンさんこと山本シュウ氏による「レモンさんのビタミントーク!」と題して講演がありました。独特の力強いトークと心温まる内容に私たちは魅了されました。



午後全国高P連研究発表、分科会は、例年のとおりそれぞれの会場で開催されました。なお、3会場には、富岳館高校と清水西高校のPTA広報誌を紹介させていただきました。



各会場(5会場)で記念講演が会場ごとのテーマで開催されました。終了後の分科会報告及び閉会式は佐賀県総合体育館で行われ、第1日目と同様に他会場には映像配信がありました。閉会式では次期開催地(京都)への全国高P連旗の授与があり、佐賀から京都へ引き継がれました。本県から佐賀大会への参加者は、三四九人でした。ありがとうございました。



第2日目(8月21日(火))

静岡県立下田高等学校南伊豆分校PTA紹介

学校紹介



青野川の土手から臨む校舎



意見発表全国大会制覇

南伊豆分校は昭和23年9月、南伊豆町の6つの村の期待を背負い、南伊豆分校として産声を上げ、昭和31年に下田南高等学校南伊豆分校と改称、さらには平成20年4月、下田北高校と下田南高校が統合、下田高校と改称されたため、下田南高等学校南伊豆分校となり、11年目が経過、今年創立70周年を迎えます。賀茂地域唯一の農業の専門高校として、南伊豆・下田は勿論、地域農業活性化、後継者育成は東伊豆町や西伊豆町の期待も担ってきました。時代は変わり、農業後継者は減りましたが、分校訓である「大地豊穰」の元、園芸教育を基本とし、地域に貢献、地域に慕われる学校を目指しています。

現在は10年以上も続く園芸保育により、農を知る保育士の育成や地元JAの部会員との連携で特産野ブキの品種育成から品種登録を實現、新たな農業の可能性を提供するなど活躍をしています。

学校農業クラブでは、平成28年度見発表で全国制覇、29年にはプロジェクト発表で全国出場など、創立初の快挙をなし遂げています。

下田南高等学校南伊豆分校
校長 綾部信明

PTA紹介



マラソン大会監察係



マラソン大会給水係

南伊豆分校のPTA活動も学校の方針に則し、地域に密接に結びつく活動を目指しています。小規模校の特性を生かし、3年間生徒が在籍する中、一度は必ずPTAの役員となり、PTA全会員が一度は役員として、PTA活動に係ります。

中でも一月に開催される、学校祭にあたる農芸祭では、暖かいお汁粉で来校者を率先してお出迎えいたし

ます。そして、11月に行われる校内マラソン大会では、教職員が少ないため、女子が約7キロ、男子が約12キロ走るコースである沿道に監察員や誘導、給水係として、20名以上のPTA役員と当日のボランティアとして名乗り出でてくれたPTA会員の方々が配置され、役割を担い運営に協力していただいております。

勿論、現在生徒が活躍している結果を残している農業クラブ活動の支援も行っています。生徒、教職員そしてPTA会員が一体となって行事や事業を遂行しているのが、南伊豆分校PTA活動の特色であると自負しています。



農芸祭でお汁粉を振舞う

下田南高等学校南伊豆分校
PTA会長 伏見好孝

静岡県立清水西高等学校PTA紹介

学校紹介



正門より校舎を望む

本校は明治44年に巴実科高等女学校として創立され、今年で一〇八年目を迎える清水地区で最も歴史と伝統を誇る学校です。戦後は静岡県立清水西高等学校と改称され、長年にわたる女子の高等教育に力を注いできましたが、時代の変化に伴い平成17年度から男女共学となりました。校訓「清く けだかく 美しく」の理念のもと高い志を持って行動する、心豊かで社会に貢献できる人間の育成を目指しています。

さて、本校には長い歴史を残すものが二つあります。一つは、玄関前にある蘇鉄の木です。現在の地に学校が移転した昭和13年に移植されたもので、戦争中の空襲も免れ、今も青々とした立派な葉を広げています。もう一つは女子高以来の「週番」という朝の奉仕作業です。当番にあたって

いる生徒が、正面玄関から生徒昇降口までの廊下の清掃や窓の開放を行っています。これは綺麗な校舎で朝から気持ちよく学校生活を迎えられるよう、生徒が主体的に活動するよう、8つのブロックに分かれて教職員と地区会を開催しています。本校のPTA活動の特色は、PTA役員が中心となり、生徒と教職員が一緒に楽しく活動できていることだと感じています。



校訓の碑

清水西高等学校
校長 青木伸也

PTA紹介



文化祭PTA餅つき

本校のPTA活動は本部役員32名と評議員64名で構成され、4つの委員会を中心となって活発に活動しています。

文化委員会は、文化祭で生徒と一緒に餅つきを行います。販売は、毎年、販売前から長蛇の列ができるほど地域住民からの評判を得ています。育成委員会は、県外の大学のオープンキャンパスに生徒と保護者が参加できるイベントを企画し、毎年、バス5台でバスツアーを行っています。厚生委員会は、年1回校庭の清掃などの奉仕作業と年3回の生徒の交通安全街頭指導を行っています。広報委員会は、広報誌「絆」を発行しています。その他、8つのブロックに分かれて教職員と地区会を開催しています。本校のPTA活動の特色は、PTA役員が中心となり、生徒と教職員が一緒に楽しく活動できていることだと感じています。



PTA奉仕作業

清水西高等学校 PTA会長 小倉倫世

静岡県立掛川西高等学校PTA紹介

学校紹介



本校は、明治34年に掛川中学校として開校し、戦後の一時期に掛川第一高等学校と名称が変わり、昭和24年に現在の掛川西高等学校となりました。掛川・小笠地区の拠点校としての役割を担い、各方面で活躍する多くの人材を輩出してきました。普通科・理数科併設の進学校で、「鍛えよう若き日を」をスローガンとし、在校生は学習や部活動等に充実した日常生活を送り、いつも挨拶の声が響きあう活気のある学校です。日々の授業を何より大切に、「主体的・対話的で深い学び」を実践しています。特色ある取組としては、県の指定を受けての総合教育センターと連携した英語教育の充実などがあり、教育的効果を上げています。部活動も盛んで、甲子園にも何度か出場している伝統ある野球部のほか、この二年間では陸上部・弓道部・音楽部・吹奏楽部・自然科学部が全国大会に出場しました。応援団指導部に代表されるような硬派な校風に加え、文化の香りのする魅力ある学校です。



正門からの遠景

掛川西高等学校 校長 土井宏晃



授業参観(無垢の木の教室にて)

PTA紹介



平成30年度PTA総会の風景

本校PTAの主な事業は、全校生徒対象の「薬学講座」、秋の「登校時街頭挨拶指導」、そして新聞「御花鳥」の発行です。他校と比べると地味な活動ですが、生徒の主体性を育む支援活動に注力しています。平成29年度、校舎の全面改装工事が完了した際、教室のエアコンをすべて更新しました。また、通常授業のほかに、教養・知識を習得する「土曜講座」の開催、放課後の自習支援（教室開放）など、先生方の多大なご協力をいただきたながら、学ぶ機会の提供に努めています。



土曜日講座の授業風景

PTAとして学校運営を支援していきたいと存じます。

掛川西高等学校 PTA会長 山下真弘

学校紹介



沼津駅北口から点字ブロックに沿って徒歩10分のところ(沼津商工会議所北側)に本校舎3階にはあります。校舎3階にある「沼津視覚」の文字と学校のマスケットシューちゃんのイラストが目印です。以前は「沼津盲学校」といい、平成31年度には創立70周年を迎えます。



正門より校舎を望む



駅から歩いてくると見える学校名。マスケット

本校は、幼稚園から高等部まで学部があり、全盲や弱視等の視覚に障害のある幼児児童生徒が学んでいます。幼稚園、小学校、中学校に準じた教育や一人一人の発達に応じた教育を見え方や個に応じた支援をしながら行っています。高等部は中途視覚障害者を対象としており、成人の生徒があん摩マッサージ指圧師の国家資格取得を目指しています。今年度は3歳から50歳代と幅広い年齢の幼児児童生徒17人が在籍しています。見え方に関する教育相談情報提供も行っており、乳児から成人の方まで、年齢に制限はありませんので、お気軽に連絡してください。

沼津視覚特別支援学校 校長 伊賀 匡

PTA紹介



点字ブロック理解推進キャンペーン



PTAによる校内バザー

本校は、会員数が少ないため「会員全員ができる活動をする」を motto に運営をしています。

本校のPTA活動は、校内だけでなく、地域とつながりながら取り組む活動が多い特色があります。10月と3月には、点字ブロック理解推進キャンペーンを学校、近隣の高校と合同で行っています。子どもたちが日常使っている点字ブロックについて知ってもらい、安全な生活につながることを期待しています。7月には、地域の商業施設で行われる避難訓練に生徒と一緒に参加し、発災の時の安全な避難や子どもたちの理解を目的としています。

その他にも10月に行われる「六星祭バザー」では、会員が使用済みの点字用紙を使って作った、ぼち袋や手提げバッグを販売しています。これらの活動を通して、社会で子どもたちの応援団が多くなればと願っています。

沼津視覚特別支援学校 PTA会長 大月由美子

「社会総がかりで取り組む教育」

県教育委員会社会教育課

県教育委員会社会教育課では、家庭・学校・地域等の連携による社会総がかりで取り組む『有徳の人』づくりを進めています。その中で、PTAのみなさんが様々な社会教育事業に参画し、学校・家庭・地域をつなぐ重要な役割を担っています。

地域ぐるみで子供を育む

○地域学校協働活動推進事業

地域住民等の参画を得て学校を核とした地域づくりを目指す「地域学校協働活動」を推進しています。学校の授業や部活動の補助、キャリア教育や子供たちの地域活動への参画を支援する「地域学校協働本部」の設置、放課後の子供たちの体験活動や居場所づくりを行う「放課後子供教室」や家庭学習の習慣が身に付くように学習支援を行う「しずおか寺子屋」の実施など、地域の子供を地域で育てる仕組みをつくり、地域を愛し、未来を担う人材を育みます。

○通学合宿・防災体験合宿

学年の異なる小中学生が家庭から離れ、共同生活を行う通学合宿や防災体験合宿の実施を推進しています。PTAや地域団体などが連携して企画し、多くの地域の大人がボランティアで運営に参加しています。

「通学合宿」や「しずおか寺子屋」では、高校生もボランティアで参加し、地域の人材として活躍しています。子供たちの貴重な体験の場となると同時に、若い人材を巻き込んだ新しい地域コミュニケーションを創出しています。



みんなで支える家庭教育

○家庭教育支援事業

すべての保護者が安心して家庭教育を行えるよう、「家庭教育支援員」の連携と活動の場を広げ、「家庭教育支援チーム」による活動を推進しています。PTAやPTA役員OB、教員OBなど、様々な地域の人材が「家庭教育支援員」として、活躍しています。支援員は、子育ての悩みや不安を軽減し、保護者同士がつながるために、家庭教育ワークショップ「つながるシート」を活用した家庭教育講座の開催などの活動を、身近な地域で行っています。「つながるシート」や家庭教育支援に関する情報は、家庭教育支援情報サイト「つながるネット」でもできますので、御利用ください。

青少年の健全育成

「親子で話そう!!我が家のケータイ・スマホルール」の普及や青少年の体験活動の推進、「青少年声掛け運動」の実施など、青少年の健全育成を支援しています。

※県社会教育課ホームページから資料等がダウンロードできます。



静岡県 社会教育の扉

検索

「高校生の健康・安全に係る現状と取組」

県教育委員会健康体育課

県教育委員会健康体育課では、高校生の心身の健康管理及び安全管理について、各学校等と連携しながら、課題の解決に向け、業務に当たっております。

高校生の健康面における現状と取組について

保健室来室状況から、高校生の心身の健康面に係る課題を考えますと、体育や部活動中のけがだけでなく、睡眠不足や朝食欠食など、基本的な生活習慣の乱れが原因となる体調不良、人間関係の悩みやインターネットの使用・依存が原因となる心身の変調、アレルギー疾患など、多岐に渡ります。

高校生のけが等の災害

平成29年度には、七千九十一件のけが等が発生しており、そのうち、体育授業中が千五百二十一件、体育的部活動が四千六百二十二件で全体の約80%を占めています。また、けがの種類としては、骨折、挫傷・打撲、捻挫が五千二百六十一件のほり、全体の74%を占めています。そこで、県教育委員会では、保健体育科主任に対して研修を実施するなど、事故防止対策の徹底及び指導法の改善に努めているところです。

アレルギー疾患に対する対応

過去の事故事例を受け、食物依存性運動誘発アナフィラキシー(運動と原因食物の組合せにより症状が誘発される。)が発生する可能性もあることから、学校は日常的にアレルギー事故の未然防止に取り組むことが求められています。そこで、各学校は、アレルギー疾患に対する対応のため、医師の専門的な指示のもと、保護者、主治医等と連携し、緊急時の連絡体制を整えたり、アレルギーの対応に関する研修を実施したりする等、誰もが安心して学校生活を送れるよう支援しています。

熱中症への対応

本年度は七月以降、記録的な高温が続いたことから、文部科学省から生徒の熱中症事故防止について複数回、注意喚起が通知されました。学校においては、運動活動中だけでなく、全ての教育活動時において熱中症予防に努めることが求められています。そのため、養護教員の研修会では、暑さ指数(WBGT)の測定による注意喚起や、生徒の健康観察による健康状態の把握、また、熱中症の疑いのある症状が見られた場合は、適切な救急処置をするように伝え、事故防止に努めています。

高校生の安全面における現状と取組について

高校生の安全面に係る課題は、心身の健康における課題と同様、多岐に渡りますが、命に直接関わる交通事故の未然防止は、特に重視すべき喫緊の課題といえます。

高校生の交通事故

平成26～29年の本県の高校生の交通事故死傷者数の推移を見ると平成29年には千三百七十九人で、前年比で九十六人増となりました。特に、自転車事故に起因する死傷者数が七十二人増となっており、本年度の事故原因は、一時不停止43%、安全不確認が19%、前方不注意が12%程度となつています。これまでも、各学校において自転車事故防止を呼びかける街頭活動を実施するなど、交通安全の向上を図ってきましたが、本年度は県警や関係部局等との連携による「命を守る」高校生自転車事故防止作戦として、交通安全情報の電子配信や、校内放送を利用した交通安全の啓発などを実施しています。

自転車は誰もが気軽に乗れる便利な乗り物ですが、交通ルール無視やマナー軽視による事故が後を絶ちません。交通ルールとマナーを守って、安全運転を心掛けましょう。

防災対策

東日本大震災のように広域にわたり甚大な被害をもたらす災害等に対しては、各学校が「学校の防災マニュアル」を参考に防災計画を作成するなどの対策を進めるとともに、高校生が地域社会の一員として活動することも求められます。本県でも南海トラフ地震発生が想定されています。地域で行われる防災訓練等に積極的に参加し、自分たちに何が出来るかを考え、地域の防災活動に主体的に取り組む人材の育成を図っています。

このように、県教育委員会や学校は、高校生の健康・安全の課題について、様々な取組をしております。しかし、何よりも大切なことは、学校・行政・家庭・地域が手を取り合い、総がかりで生徒の安全な生活を守る取組を実施することです。

是非ともご協力をお願いします。

参考文献
・日本スポーツ振興センター資料
・警察統計、警察資料

	26年中	27年中	28年中	29年中
事故全体	1,483人	1,376人	1,283人	1,379人
自転車事故	1,066人	949人	935人	1,007人
自転車事故割合	71.9%	69.0%	72.9%	73.0%

平成30年度 事業計画

次代を担う青少年の心身共に健やかな成長と高等学校教育の更なる充実と発展を願っている私たちPTAは、生涯学習の視点に立脚して、自らが学び、自らの資質の向上に努めるとともに、青少年を取り巻く社会環境の整備を積極的に推進する。また、社会教育団体として家庭・学校・地域・社会との連携・協働を図り、家庭や地域の教育力の充実及び向上等に寄与する。そのため、次の重点目標を定め、事業を企画し積極的に推進する。

(重点目標)

- 1 自主的、主体的なPTA活動を推進し、充実した魅力ある学校づくりを支援する。
- 2 学校及びPTA相互の連携(幼・小・中・高)を密にし、地域ぐるみで青少年の健全育成を図る。
- 3 教育環境の整備及び充実を図る。
- 4 学校や関係機関等と連携し、就職・進学等の進路指導の充実を努める。
- 5 学校や関係機関等と連携し、防犯活動や交通安全教育・交通安全運動を一層推進する。

静岡県公立高等学校PTA連合会 平成30年度 事業計画				
期 日	時 間	事 業		会 場
5月10日(木)	10:30-19:00	新旧合同理事会①、被表彰者選考委員会情報交換会	安全振興会(理事会①)	クーポール会館
6月1日(金)	13:30-16:10	総会、研修会	定時評議員会・臨時理事会	しずぎんホール
8月19日(日)	18:30-20:30	静岡県高P連情報交換会(佐賀大会)		ホテルセントラータ博多
10月11日(木)	13:30-14:30	高校生善行表彰選考委員会		クーポール会館
10月11日(木)	14:40-16:00		安全振興会(理事会②)	クーポール会館
2月7日(木)	13:30-16:00	理事会②、特別委員会		クーポール会館
3月15日(金)	14:00-16:00		安全振興会(理事会③)	
東海地区高等学校PTA連合会 平成30年度 事業計画				
4月25日(水)	14:30-19:00	理事会①、情報交換会		愛 知
6月22日(金)	11:00-19:30	総会、東海地区高P連愛知大会、情報交換会		愛知(刈谷)
10月25日(木)	14:00-16:30	理事会②、委員会①		愛 知
2月15日(金)	14:00-16:00	理事会③、委員会②		愛 知
全国高等学校PTA連合会 平成30年度 事業計画				
6月23日(土)	13:30-16:00	定時総会		東 京
8月19日(日)	11:00-19:00	分科会別運営会議、レセプション		佐 賀
20日(月)21日(火)	9:00-翌日12:00	第1日開会式、表彰式、基調講演、分科会	第2日分科会報告、記念講演、閉会式	佐 賀
10月13日(土)	13:30-16:00	会長・事務局長研修会①		京 都
2月2日(土)	13:30-16:00	会長・事務局長研修会②		東 京
全国高等学校等安全互助会連絡協議会 平成30年度 事業計画				
10月4・5日(木・金)	13:15-17:00	総会・研究大会 ~翌日12:00迄		富 士

平成30年度 役員名簿

No.	役 職	担 当	氏 名	学 校 名
1	会 長		小山全司	焼津中央
2	副 会 長		関 隆 之	菫 山
3			青山 健	清水桜が丘
4			山崎好和	浜松北
5			望月美奈子	吉 原
6	校 長 理 事		志村剛和	静 岡
7			神田不二彦	沼津東
8			鈴木照彦	清水東
9			松本直己	浜松北
10	常務理事		遠藤師正	
11	理 事	世話人・研修	福本芳美	松 崎
12		研 修 会	古澤範久	三 島 北
13		世 話 人	佐野孝之	菫 山
14		世話人・研修	西島浩司	沼津城北
15			芦川一志	沼津工業
16		世話人・研修	宮川公治	富 士
17			池野 武	富士宮北
18		世話人・研修	小倉倫世	清水西
19		世話人・研修	江口幸生	静岡農業
20			小関伸幸	科学技術
21	世話人・研修	村松久嗣	藤枝北	
22		中村裕美子	清流館	

No.	役 職	担 当	氏 名	学 校 名
23	理 事		藁科太祐	藤枝東
24		世 話 人	山下真弘	掛川西
25		研 修 会	落合恵美子	掛川工業
26		世話人・研修	森岡 剛	磐田北
27			鈴木昭男	袋井商業
28		世 話 人	袴田義久	浜松西
29		世話人・研修	鈴木茂之	浜北西
30			久保田 賢	浜松北
31		世話人・研修	塩島真未子	静岡北特支
32		監 事		小野寺浩幸
33			夏目 厚	静岡中央
34			藤田和宏	浜松南

※地区世話人校理事：世話人、研修会担当校理事：研修会、地区世話人・地区研修会担当校兼任理事：世話人・研修で表示

No.	役 職	氏 名	所 属
1	名誉会長	杉浦政紀	浜松北
2	名誉顧問	芦川清司	静岡農業
3		豊岡武士	菫 山
4		鈴木敏彦	富 士
5	顧 問	木村光正	沼津東

平成30年度 単位PTA会長名簿

Table with 4 columns: NO., 学校名, 会長氏名. Lists PTA chairpersons for various schools in Shizuoka Prefecture for the 2018 fiscal year.

一般財団法人 静岡県高等学校安全振興会から

1 部活動等のケガの未然防止に向けて 「児童生徒の健康・安全に関する研修会等支援事業」の活用を！

この事業は、部活動などでのケガを未然に防止するための知識を教職員や保護者を持つてもらうため、講師を招いて研修会を開催する場合は、講師への謝金等を安全振興会が負担するもので、ケガの未然防止に向けてこの事業を積極的に活用してください。

(1) 一団体20万円の範囲内であれば、1年で複数回の活用が可能です。

(2) 活用例 ・高体連、高野連の会議や研修会、部活動顧問会議、体育主任研修会 ・各学校や、PTA等が主催する教職員研修会など

(3) 内容くケガの未然防止へのアプローチ ・準備運動の改善、サポーターの活用 ・スマホの使い方 ・食生活、栄養学の面から など

2 各種見舞金の支払方法の変更について

各種見舞金について、昨年度までは学校の指定する金融機関口座に振込ん

でございましたが、今年度から本会から直接保護者（成人の場合は本人口座も可）の金融機関口座に振込むようにシステム変更しております。

(1) 各種見舞金請求書の様式が本年度から変更になっております。（平成30年2月6日付け静岡振第21号 参照）

(2) 債権・債務者登録票が授業料等の口座の場合は、卒業生の場合解約されていないか確認をお願いします。

問い合わせは、一般財団法人静岡県高等学校安全振興会 事務局まで

【電話番号】 0541-2551-4678

編集後記

異常気象に暑い日が続き、熱中症対策が日課になっています。夏は暑く、冬は寒いそんな四季の変化も、これだけ異常であると春夏秋冬を楽しむどころではありません。

さて、第68回佐賀大会も無事終了し、本県からも多くのPTA会員のみなさまに、参加いただき感謝申し上げます。詳細は、ホームページ（HP）に掲載しますのでご覧ください。

(事務局)